



## 2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2019年8月13日

上場会社名 松尾電機

上場取引所 東

コード番号 6969 URL <http://www.ncc-matsuo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 常俊 清治

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役執行役員総務経理部門長 (氏名) 網谷 嘉寛

TEL 06-6332-0871

四半期報告書提出予定日 2019年8月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第1四半期の業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	964		7		24		6	
2019年3月期第1四半期								

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	2.35	
2019年3月期第1四半期		

(注)当社は、2019年3月期第1四半期は連結財務諸表を作成していたため、2019年3月期第1四半期経営成績(累計)及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	%	%
2020年3月期第1四半期	5,733		1,751		30.6	
2019年3月期	5,784		1,757		30.4	

(参考)自己資本 2020年3月期第1四半期 1,751百万円 2019年3月期 1,757百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期				0.00	0.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)				0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,100		20		10		20		7.78
通期	4,400	0.4	150	64.8	130	145.3	70		27.23

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、2019年3月期第2四半期(累計)は、四半期連結財務諸表を作成していたため、対前年同四半期増減は記載しておりません。

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期1Q	2,572,000 株	2019年3月期	2,572,000 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2020年3月期1Q	1,785 株	2019年3月期	1,706 株
------------	---------	----------	---------

期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期1Q	2,570,241 株	2019年3月期1Q	2,570,516 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいおり、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
3. その他	6
継続企業の前提に関する重要事象等	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間のエレクトロニクス業界の状況は、電子部品の出荷額については、海外経済の景気減速等の影響により、低調な水準で推移しました。

このような環境のもとで、当社の売上高につきましては、販売重点製品である、補聴器等の医療機器向けの下面電極構造のタンタルコンデンサ、車載用回路保護素子及び高電流ヒューズは好調に推移したものの、自動車電装を始めとするカーエレクトロニクス向けのタンタルコンデンサが低調に推移しました。

その結果、当第1四半期累計期間の当社の業績は、売上高につきましては、964百万円となりました。損益につきましては、採算重視の営業活動の実施及びコストダウンに努めたものの、売上高の大幅な減少の影響により、営業利益7百万円となり、為替差益21百万円の計上により、経常利益は24百万円となりました。

また、特別損失として、コンデンサ取引に関する当局等の調査対応のための弁護士報酬等の独占禁止法等関連損失28百万円を計上した結果、四半期純損失6百万円となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

#### ① タンタルコンデンサ事業

タンタルコンデンサ事業につきましては、自動車電装を始めとするカーエレクトロニクス向けのタンタルコンデンサの需要が低調に推移しました。この結果、タンタルコンデンサ事業の売上高は、756百万円、セグメント利益は、66百万円となりました。

#### ② 回路保護素子事業

回路保護素子事業につきましては、車載用回路保護素子及びリチウムイオン電池向けの高電流ヒューズの需要が好調に推移しました。この結果、回路保護素子事業の売上高は、172百万円、セグメント利益は、43百万円となりました。

#### ③ その他

その他の売上高は、35百万円、セグメント利益は0百万円となりました。

なお、前第1四半期累計期間は、四半期連結財務諸表を作成し、四半期財務諸表を作成していないため、前年同四半期累計期間との比較分析は行っていません。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末の総資産は、主に売上債権の減少等により5,733百万円（前事業年度末比50百万円減）となりました。

負債は、主に仕入債務の減少等により3,981百万円（前事業年度末比44百万円減）となりました。

純資産は、主に四半期純損失の計上等により1,751百万円（前事業年度末比6百万円減）となりました。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2019年5月15日に公表しました数値から修正を行っていません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,431,514	1,481,399
受取手形及び売掛金	894,659	780,250
電子記録債権	324,871	351,054
製品	753,590	755,139
仕掛品	382,917	407,741
原材料及び貯蔵品	330,466	307,025
その他	17,820	32,038
貸倒引当金	△1,219	△1,131
流動資産合計	4,134,620	4,113,518
固定資産		
有形固定資産	1,469,368	1,404,440
土地	750,891	691,322
その他	18,541,684	18,471,423
減価償却累計額及び減損損失累計額	△17,823,207	△17,758,305
その他(純額)	718,477	713,118
無形固定資産	142,191	177,430
投資その他の資産	37,921	37,756
投資有価証券	15,000	15,000
その他	22,925	22,760
貸倒引当金	△3	△3
固定資産合計	1,649,481	1,619,628
資産合計	5,784,101	5,733,146

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	507,317	481,032
短期借入金	1,650,000	1,650,000
1年内返済予定の長期借入金	16,008	16,008
未払法人税等	12,461	7,797
設備関係支払手形	10,851	8,552
その他	441,878	467,238
流動負債合計	2,638,517	2,630,629
固定負債		
長期借入金	108,656	104,654
繰延税金負債	99,829	99,829
環境対策引当金	8,535	8,535
退職給付引当金	554,357	538,331
資産除去債務	7,756	7,792
その他	608,802	591,788
固定負債合計	1,387,936	1,350,930
負債合計	4,026,453	3,981,559
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,219,588	2,219,588
資本剰余金	302,662	302,662
利益剰余金	△762,916	△768,944
自己株式	△1,659	△1,692
株主資本合計	1,757,675	1,751,614
評価・換算差額等		
繰延ヘッジ損益	△27	△27
評価・換算差額等合計	△27	△27
純資産合計	1,757,648	1,751,586
負債純資産合計	5,784,101	5,733,146

## (2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	964,269
売上原価	735,559
売上総利益	228,710
販売費及び一般管理費	220,858
営業利益	7,851
営業外収益	
受取利息	27
受取配当金	500
為替差益	21,107
貸倒引当金戻入額	88
その他	1,828
営業外収益合計	23,551
営業外費用	
支払利息	4,619
支払手数料	2,160
その他	107
営業外費用合計	6,887
経常利益	24,516
特別損失	
固定資産除却損	0
独占禁止法等関連損失	28,342
特別損失合計	28,342
税引前四半期純損失(△)	△3,826
法人税、住民税及び事業税	2,201
法人税等調整額	-
法人税等合計	2,201
四半期純損失(△)	△6,028

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

当社は、前事業年度において、主に独占禁止法等関連損失の計上により、当期純損失647百万円を計上しました。また、当四半期以降においても独占禁止法等に関連する支払の発生が見込まれます。

このような状況により、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象等が存在しておりますが、当社は、当該重要事象等を改善するため、2017年4月1日を起点とする中期経営計画（2018年3月期から2020年3月期まで）を推進し、売上高及び営業利益の増加を課題とし、各対応策を進めていることから、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しています。